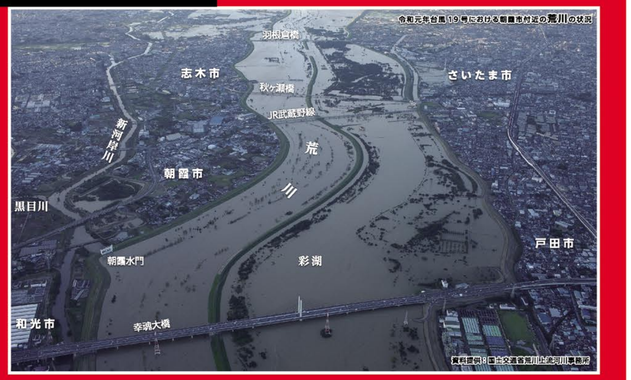
朝霞市 水害 ハザードマップ

保存版

日頃の備えと、いざという時のために



わが家の防災メモ

わが家の避難所		わが家の集合場所	

家族の連絡先	名　前	血液型	電話番号	会社・学校名	会社・学校の連絡先

その他の連絡先	

朝霞市役所
住所：〒351-8501　埼玉県朝霞市本町一丁目1番1号
電話：048-463-1111（代表）

発行：令和5年（2023）8月
企画編集：朝霞市危機管理室／水害ハザードマップ作成委員会

ハザードマップのほか、様々な防災情報を市ホームページに掲載しています。

水害について

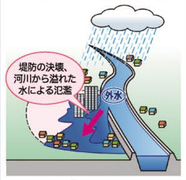
水害は地震よりも事前予報がしやすいので、比較的対策をたてやすい災害です。起こりうる水害を理解し、発令される情報に的確な判断をしましょう。

想定されている水害

外水氾濫

「外水」とは、堤防の間を流れる河川の水のことをいいます。

外水氾濫は、大雨などで河川の水位が増し、堤防の決壊や越流などで大量の水が市街地等に流れ込み、短時間で住宅など人や財産を浸水させます。



近くで大雨が降っていなくても、河川の上流域で大雨が降ると、下流の水位が上昇することがあります。

内水氾濫

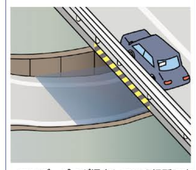
河川の水を「外水」と呼ぶのに対し、市街地など堤防で守られた土地にある水のことを「内水」と呼びます。

下水道などの排水能力を超える大雨や、河川の水位が上昇することで「内水」が排水できず、マンホールなどから水が溢れて、土地や道路などに浸水することを「内水氾濫」といいます。

ゲリラ豪雨のような、局地的な大雨による内水氾濫は都市型水害の典型といえます。

アンダーパス部の冠水

急激な大雨で、ポンプや排水路などの排水能力を超えた場合に、アンダーパス（道路や鉄道などの地下をくぐって抜ける道路で、周囲に比べて地面が低くなっている区間）が冠水することがあります。



アンダーパスが浸水している場所に車で進入すると、エンジンが停止して立往生してしまい、水没するなど大変危険です。

雨の降り方と雨量の関係

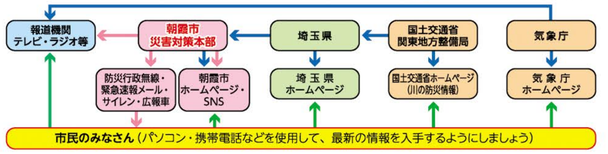
	やや強い雨 10～20mm	強い雨 20～30mm	激しい雨 30～50mm	非常に激しい雨 50～80mm	猛烈な雨 80mm以上
予報用語 1時間雨量（mm）					
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車の運転は	—	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

気象情報・避難情報

水害から身を守るために、気象情報や避難情報を入手しましょう。気象情報で大雨や台風の予報やゲリラ豪雨などの情報を入手したら、信頼できる情報源から最新の情報を継続して入手し、避難へ備えましょう。

洪水予報・避難情報の伝達経路

災害の情報はこのような経路でみなさんに伝達されます。テレビ、ラジオ、インターネットで最新の情報を入手し、避難活動に役立てましょう。



水害時に入手する情報

朝霞市は様々な情報をもとに、避難情報を発令する判断を行いますが、必ずしも気象情報と同じレベルの避難情報が、同時に発令されるわけではありません。

自らの命は自ら守る意識を持って、気象情報も参考にしながら、適切な避難行動をとってください。

気象情報とは
台風や大雨に関する情報です。気象庁から発表されます。テレビやホームページなどから新しい情報を入手するようにしましょう。

指定河川洪水予報とは
水位の情報です。避難行動や水防活動の判断目安になります。発表基準は下記に掲載（警戒レベル相当情報）。

避難情報とは
避難の準備や開始のタイミングの目安となる情報です。朝霞市が発令します。市のホームページや防災行政無線などで確認しましょう。テレビやラジオ等の情報は、朝霞市だけではなく、より広範囲な情報になります。

警戒レベル	状況	気象情報等	指定河川洪水予報	避難情報等	とるべき行動
5	災害発生又は切迫	大雨特別警報	氾濫発生情報	緊急安全確保	●すでに災害が発生しています。いのちを守るための最善の行動をとりましょう。
〈 警戒レベル4までに必ず避難！ 〉					
4	災害のおそれ高い	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報	避難指示	●冠水など、避難が困難になっているおそれがあります。 ●速やかに避難を！！！ ●浸水想定区域外の、少しでも安全な場所へ避難してください。
3	災害のおそれあり	大雨警報 洪水警報	氾濫警戒情報	高齢者等避難	●高齢者等は速やかに避難を。 ●浸水想定区域や、河川沿いにいる方も、準備が整い次第、避難してください。
2	気象状況悪化	大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報		○ハザードマップ等で避難場所や危険な区域を再確認しましょう。
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報			○災害への心構えを高めます。

◆洪水情報の発表基準
（令和5年現在）

	荒川水位（治水橋水位観測所）	新河岸川水位（宮戸橋水位観測所）	黒目川水位（浜崎水位観測所）
氾濫危険水位	12.70m	7.48m	6.04m
避難判断水位	12.20m	7.12m	—
氾濫注意水位	7.50m	6.00m	5.80m
水防団待機水位	7.00m	4.50m	5.10m

ライブカメラで河川の様子を確認できます（国土交通省「川の防災情報」）

情報の入手・災害時の連絡方法

災害に対して適切に対応をするには、正確な情報の収集が必要です。テレビやラジオなど報道機関のほかに、ホームページやSNS、市役所からの呼びかけにも注意して、最新の情報を把握しましょう。

情報の収集方法

市が発信する情報

朝霞市公式ホームページ
https://www.city.asaka.lg.jp
避難情報や避難所の開設状況など、市内を中心とする情報

朝霞市公式X（旧Twitter）
URLは変更となる恐れがあります。
https://twitter.com/asaka_city

朝霞市公式Facebook
https://www.facebook.com/asakacity.koho

今すぐ登録！

朝霞市メール配信サービス
https://www.city.asaka.lg.jp/soshiki/55/mail-service.html
防災や市政に関する最新情報を強制配信

Yahoo!防災速報
スマートフォン用「Yahoo!防災速報」をインストールし、アプリ内で朝霞市を地点登録している方に各種情報（避難、ライフライン、災害時の注意喚起など）が配信されます。

緊急速報メール、エリアメール
事前登録は不要。市内にいる方のNTTドコモ、au、ソフトバンク、ワイモバイル、楽天モバイルの携帯電話、スマートフォンに、氾濫危険情報や氾濫発生情報など一部の災害情報が一斉配信されます。

防災行政無線
避難指示などの避難情報は防災行政無線で呼びかけます。音声を確認できなかった場合、市のホームページやメール配信サービス、防災行政無線専用ダイヤル（通話無料：0800-8000-744）で確認できます。
※IP電話からの放送確認はできません。

公共機関などが発信する情報

気象庁ホームページ
https://www.jma.go.jp/
キキクル（危険度分布）や最新の気象情報、台風・大雨・土砂災害・電巻に関する情報、今後の推移など。

国土交通省「川の防災情報」ホームページ
https://www.river.go.jp/
全国の水位や雨量、危険性が高まっている河川、洪水予報など。

荒川上流河川事務所
https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/
川の状況のリアルタイム映像

埼玉県防災ポータルサイト
県内の避難情報や天候などの情報
https://www.pref.saitama.lg.jp/theme/anzen/index.html

埼玉県 川の防災情報
雨量や河川の水位などの情報
https://suibo-river.pref.saitama.lg.jp

埼玉県「川の防災情報メール」
事前登録により、県内河川の避難情報を配信
https://www.pref.saitama.lg.jp/a1007/kawanobousai.html

埼玉県「防災情報メール」
事前登録により、気象警報や地震などの防災情報を配信
https://www.pref.saitama.lg.jp/a0402/903-20091202-28.html

ラジオ、テレビ、テレビのデータ放送
データ放送はテレビのリモコンのdボタンを押すと表示されます。震度や波の高さ、警報や注意報などのほか、災害や避難所の情報、交通やライフラインなどの一覧を見ることができます。

775（ナナコ）ライブリー FM（周波数 FM77.5MHz）
災害時は朝霞市が発信する情報を放送します。

災害用伝言サービス

それぞれで登録された伝言を相互に確認できます。

◆NTT 災害用伝言ダイヤル（171）
固定電話・IP電話・携帯電話から、伝言を録音・再生できます。録音時間は1伝言あたり30秒です。

登録
「171」をダイヤルして音声案内に従って「録音」を選択し、「伝言を残す 電話番号」を入力する（録音は指定番号の設定も可能）

確認
「171」をダイヤルして音声案内に従って「再生」を選択し、「伝言を確認したい電話番号」を入力する

◆NTT 災害用伝言板（web171）
https://www.web171.jp/
携帯電話・スマートフォン・インターネットから、伝言を文字入力・確認できます。文字数は1伝言あたり100字以下です。

登録
「web171」にアクセスし、トップ画面で「伝言を残す 電話番号」を入力して「登録」を選択し、伝言を登録する

確認
「web171」にアクセスし、トップ画面で「伝言を確認したい電話番号」を入力して「確認」を選択する

◆携帯電話・スマートフォンの災害用伝言板
携帯電話各社の携帯電話から伝言を文字入力できます。

使い方
各携帯端末のトップ画面から「災害用伝言板」にアクセスし、画面の指示に従って操作をしてください。

水害時の避難行動

予想が可能な台風などは事前対策が行えますが、ゲリラ豪雨など突発的な災害では自分たちの判断が重要です。避難情報が発令されていなくても、その場に留まると危険と判断したら、自主的に避難を開始してください。

基本は立ち退き避難、次に緊急時の屋内安全確保

風水害での避難行動では、災害が発生する前に危険性がある場所から避難する「立ち退き避難」が基本です。

しかし、「立ち退き避難」を行う余裕がない場合や、悪天候などにより外出することが危険な場合は、「屋内安全確保」でいのちと身体を守りましょう。

避難指示などが発令されていなくても、その場に留まると危険と判断したら、自主的に立ち退き避難を開始してください。

マイ・タイムラインで避難の目安を決めておこう

マイ・タイムライン（あなたと家族のための避難予定表）は、洪水がおこりそうなときの自分や家族の行動をあらかじめ時系列で決めておくものです。台風が近づいたときや大雨・集中豪雨など災害が発生する可能性があるときに避難行動の目安として使います。

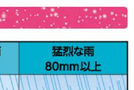
ハザードマップから避難するところを、気象情報や避難情報から避難するタイミングを考えてマイ・タイムラインを作りましょう。

マイ・タイムラインのほか、様々な防災情報を市ホームページに掲載しています。
※ https://www.city.asaka.lg.jp/life/1/67/

避難する際の注意点

正確な情報収集と自主的避難
ラジオやテレビ・携帯電話を利用し、最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。
雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

安全な避難経路での避難を
あらかじめ、自分たちで避難所までの避難経路を複数決めておき、その中から安全に通行できる経路で避難しましょう。



避難の呼びかけに注意
危険が迫ったときには、市役所や消防団から避難の呼びかけをします。
その場合には、速やかに避難してください。

避難の前に確認
避難する前に、ガス、電気、火の元を点検しましょう。避難場所を確認し、途中で家族が離散したときの行動も決めておきましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡して、避難先を確認しましょう。

動きやすい服装で、2人以上での避難
避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。
できる限り単独での避難は避け、近所で声をかけ合って避難しましょう。

水面下の危険にも注意
避難の際は、できる限り高さのある道路を通るようにしましょう。
浸水場所では、側溝やふたがはずれたマンホールなどに注意しましょう。

逃げ遅れたら高い建物に避難
万一、逃げ遅れて避難場所まで行く余裕が無い場合は、近くの丈夫な建物のできるだけ上の階に避難して救助を待ちましょう。
建物の2階部分でも場所によっては危険な場合があります。

車での避難は避け、堤防に車を放置しない
車での避難は緊急車両の通行を妨げますので、特別の場合を除きやめましょう。
また、車を堤防や道路に放置すると、水防活動の妨げになりますので、やめましょう。

避難行動判定フローの確認

平時に確認　「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスク・とるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

↓

家がある場所に色が塗られていますか？
- いいえ → 色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市が発令する避難情報を参考に必要に応じて避難してください。
- はい ↓

災害の危険があるので、原則として※、自宅の外に避難が必要です。
- 例外 → ①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまう恐れの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある
①～③の場合は、浸水の危険があっても自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

↓

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？
- いいえ → 安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？
  - はい → 警戒レベル4 避難指示が出たら、安全な親戚や知人宅への避難※も検討しましょう（日頃から相談しておきましょう）
  - いいえ → 警戒レベル4 避難指示が出たら、市が開設した避難所に避難しましょう
    検索 Q パカン　朝霞
    で避難所の開設・混雑状況を確認
- はい ↓

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？
- はい → 警戒レベル3 高齢者等避難が出たら、安全な親戚や知人宅への避難※も検討しましょう（日頃から相談しておきましょう）
- いいえ → 警戒レベル3 高齢者等避難が出たら、市が開設した避難所に避難しましょう
  検索 Q パカン　朝霞
  で避難所の開設・混雑状況を確認

※感染症対策として、避難所が過密状態になることを防ぐ観点からも、安全な親戚や知人宅への避難も検討しましょう。

日頃の備え

備え（水害）について

いのちや財産を守るために、一人ひとり、あるいは家族が協力し、普段から備えておく必要があります。安全性をチェックし、補強や清掃を行っておきましょう。また、ライフラインが止まっても3日間程度（推奨7日間）自力で生活できるよう、備蓄をしておきましょう。

家屋の防災対策

- アンテナや煙突などの補強をする。
- 雨戸のないガラス窓は飛来物の破損から守る工夫をする。
- 壁や基礎にひび割れなどがないか、腐ったり、シロアリに食われている箇所はないか。
- プロパンガスボンベはしっかり固定する。
- 建物の周囲にある風に飛ばされそうな物を取り込む。
- 屋根瓦のずれなどを補修して飛ばされないようにする。
- 雨樋の掃除をする。
- ベランダなどの竿や小物を全て取り込む。手ずりが壊れていたら修理する。
- 古い雨戸は、飛ばされないように防災いをつけたり、つっかい棒をあてがったりして、応急の補強をする。
- 浸水の危険がある場合には、大切な家財道具は2階や高い安全な場所に移動する。
- 近所の側溝や雨水ますが詰まっていないか確認し、清掃する。

非常用持ち出し品・備蓄品の準備

大規模災害時に被災地まで救援物資が届くには、おおむね3日かかるといわれています。

非常用持ち出し品は必要最低限なものをリュックサックなどにまとめ、すぐ持ち出せる場所に保管しておきましょう。

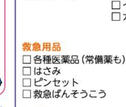
備蓄品は、ライフラインが復旧するまで自給自足するのに必要な物です。保存状態や使用（賞味）期限などを定期的に点検・交換しましょう。

最低でも3日間（推奨1週間）必要な食料・物資を用意しましょう。

家庭環境に応じて、必要なものを用意しましょう。

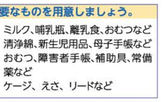
●乳幼児がいる家庭	ミルク、哺乳瓶、離乳食、おむつなど
●妊婦がいる家庭	清浄綿、新生児用品、母子手帳など
●要配慮者がいる家庭	おむつ、障害者手帳、補助具、常備薬など
●ペットがいる家庭	ケージ、えさ、リードなど

非常用持ち出し品
- □ 飲料水、携帯食料
- □ 携帯電話、携帯電話の充電器（電池式）
- □ 現金（公衆電話用に10円硬貨）
- □ マスク、消毒液、体温計
- □ 上履き（スリッパ、靴下など）
- □ ごみ袋
- □ 身分証明書（健康保険証、免許証、パスポートなど）
- □ 印鑑、クレジットカード
- □ タオル
- □ 薬・お薬手帳
- □ 笛（ホイッスル）



◆埼玉県ホームページ「イツモ防災」防災マニュアルブック
備蓄方法や災害時のトイレ対策などが紹介されますので参考にしてください。

備蓄品



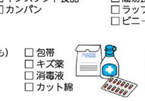
飲料水
1日1人3リットル × 家族 □人 × 3日 ＝ わが家では □リットルの水を用意

携帯トイレ
- □ 携帯トイレ

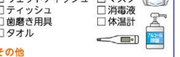
食料
- □ レトルト食品
- □ インスタント食品
- □ カンパン

調理器具
- □ ナイフ・缶切り
- □ 簡易食器・スプーン
- □ ラップ
- □ ビニール袋
- □ 燃料（卓上コンロ、固形燃料など）

救急用品
- □ 各種医薬品（常備薬も）
- □ はさみ
- □ ピンセット
- □ 救急ばんそうこう
- □ 包帯
- □ キズ薬
- □ 消毒液
- □ カット綿



衛生用品
- □ ウェットティッシュ
- □ ティッシュ
- □ 歯磨き用具
- □ タオル
- □ マスク
- □ 消毒液
- □ 体温計



生活用品
- □ 懐中電灯
- □ 携帯ラジオ
- □ 予備の電池、バッテリー
- □ ライター・マッチ
- □ ロープ
- □ 布ガムテープ
- □ 軍手
- □ レジャーシート
- □ 笛（ホイッスル）
- □ マーカーペン・筆記具
- □ カイロ

その他
- □ 上着類
- □ 下着類・靴下
- □ レインコート
- □ スニーカー
- □ 防災ずきん・ヘルメット

記入例：同時に配布のマイ・タイムライン記入用シート（A4）にこの例を参考に書き込みましょう。

マイ・タイムライン

マイ・タイムライン（あなたと家族のための避難予定表）とは、大雨や台風接近などにより、水害の危険性が高まっているときに、自分自身がとる行動を時間の流れに沿って整理したものです。いざというときに慌てないために、書き込んでおきましょう！

マイ・タイムライン（Excel版）はこちら▶

| 設定例 | 家族構成 | 名前 | 年齢 | | | | |